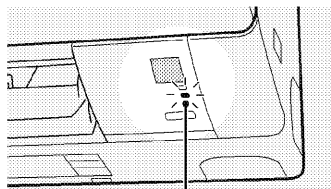


ストリーマユニット

■ タイマーランプが点滅するとき、またはシーズンに1度



タイマーランプ(橙色)

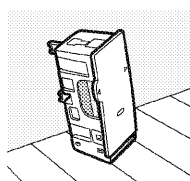
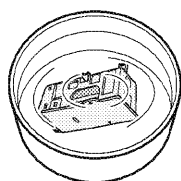
ストリーマおそうじサインについて

1800時間以上運転するとタイマーランプが点滅してお知らせします。
ストリーマおそうじサイン点滅中はストリーマ放電できません。

つけ置き ふき取り

ゴム手袋
使用

- ①ぬるま湯または水につけおきする。
(約1時間)
- ②綿棒またはやわらかい布で汚れを落とす。(ゴム手袋使用)
- ③流水ですすぎ、水気を切る。
- ④風通しのよい日陰で乾燥する。
(約1日)



お手入れ 終了後 ストリーマおそうじ サインリセット

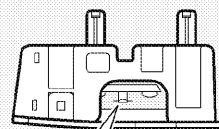
お手入れ後、電源プラグを差し込むかブレーカーを入れ、運転しない状態で

サインリセットを押す。▶8ページ

- ストリーマおそうじサインが消灯します。

■ 針にゴミが付着している場合

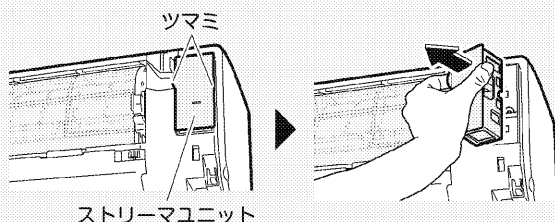
針に付着したゴミを、綿棒などのやわらかいものに水や液体中性洗剤をしみ込ませて軽くふき取ってください。
ゴミをふき取る際は、針が変形しないように注意してください。
針が変形すると脱臭能力が低下します。



根元から針先へ
軽くふき取る

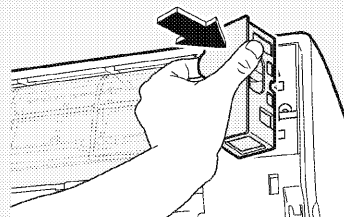
ストリーマユニットの取外し

前面パネルを開け、ストリーマユニットのツマミを持ち、手前へ引き出す。



ストリーマユニットの取付け

ストリーマユニットを奥まで押し込んで取り付け、前面パネルを閉じる。



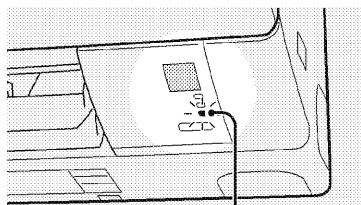
お願い

- 汚れがひどいときは、液体中性洗剤を溶かしたぬるま湯または水につけおきしてください。
- 液体中性洗剤は洗剤の注意書きに記載された方法で使用し、使用後は洗剤が残らないように十分に水洗いしてください。
- 粉末洗剤やアルカリ性・酸性洗剤を使用したり、硬いタワシなどでこすらないでください。
(変形、破損、金属部のサビの原因)
- 布などのせんいクズが残らないようにしてください。(誤作動の原因)
- ストリーマユニットは分解しないでください。

お手入れのしかた

ダストボックス／ダストブラシ

■ 内部クリーン・おそうじランプが点滅するとき



内部クリーン・
おそうじランプ
(緑色)

ダストボックスおそうじサインについて

フィルター掃除運転(自動・手動)によりダストボックス内にホコリがたまる、またはダストブラシが汚れると、内部クリーン・おそうじランプが点滅してお知らせします。

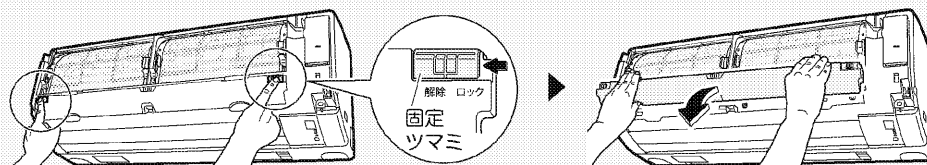
ダストボックスおそうじサイン点滅中は、フィルター掃除運転ができません。

掃除機 または 水洗い

- ダストボックスとダストブラシのホコリを掃除機で吸い取る。
- 水洗いをした場合は、日陰でよく乾かす。

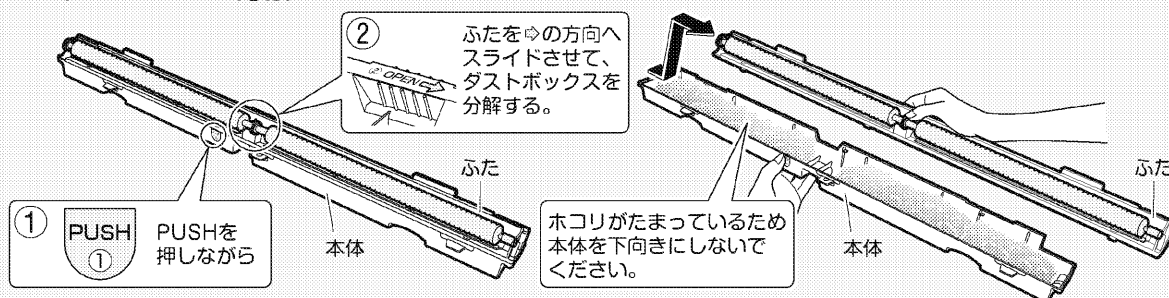
ダストボックスの取外し

- 1 前面パネルを開け、ダストボックスの左右2カ所の固定ツマミ(青色)を解除側にし、ダストボックスを両手でゆっくり引き出す。

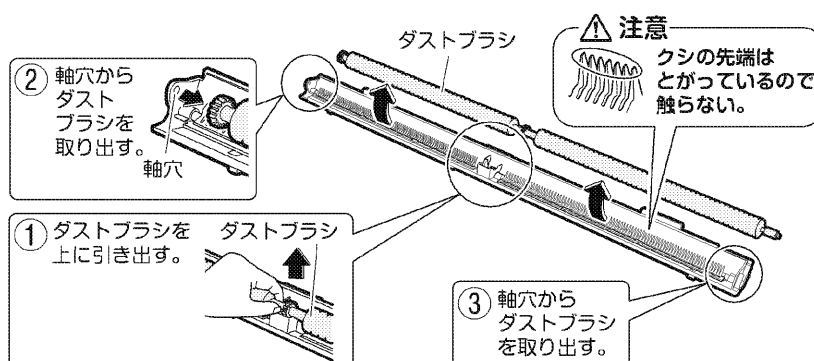


- 2 ダストボックスの裏側にある「PUSH」が手前にくるよう持ち替える。

- 3 ダストボックスを分解する。



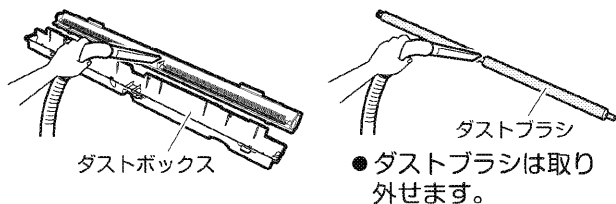
ダストブラシの取外し／取付け



- 取付けは、以下の手順で行ってください。

- ① 左右の軸穴にダストブラシを取り付ける。
- ② ダストブラシを押し込む。

ダストブラシは確実に取り付けられていることを確認してください。ダストブラシが回転せず、運転しなくなる場合があります。



お手入れ終了後 ダストボックス おそうじサインリセット

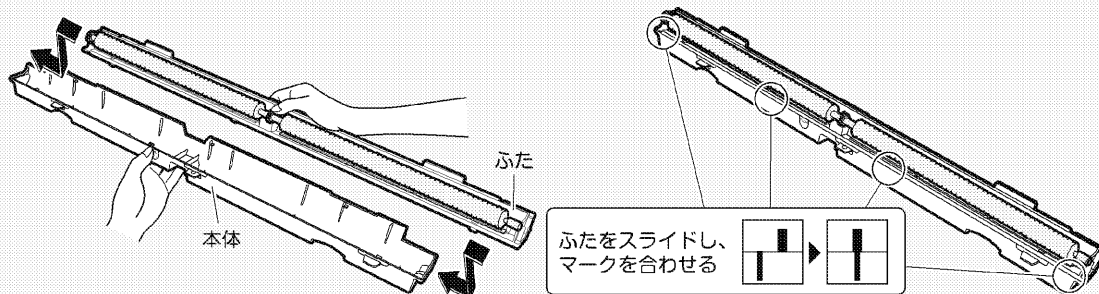
お手入れ後、電源プラグを差し込むかブレーカーを入れ、運転しない状態で

サインセットを押す。▶8ページ

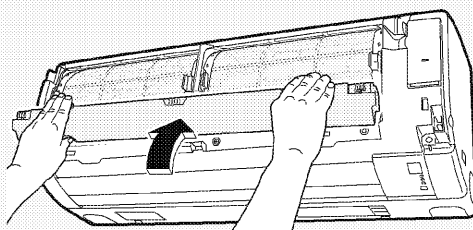
●ダストボックスおそうじサインが消灯します。

ダストボックスの取付け

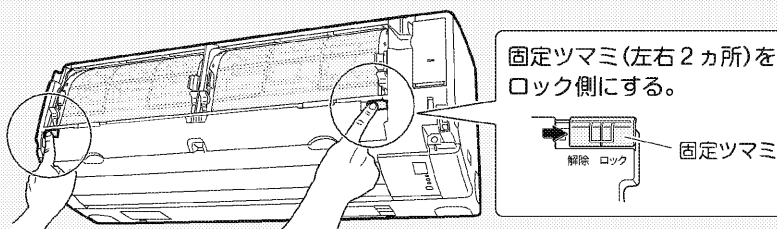
1 ダストボックスを閉じる。



2 ダストブラシが奥側になるように、ダストボックスを両手で持ち、本体に押し込んで取り付ける。

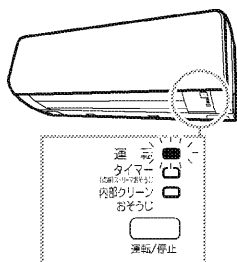


3 左右の固定ツマミをロック側にし、前面パネルを閉じる。

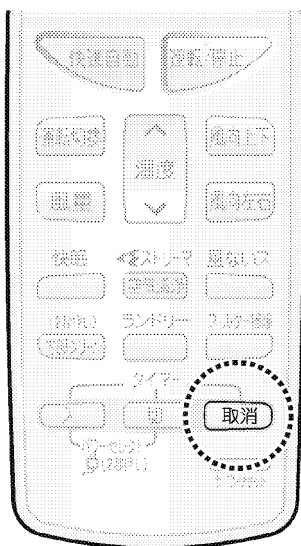


確実に固定されていないと正常にフィルター掃除運転を行いません。

運転ランプが点滅するとき



タイマーランプ(橙色)が点滅するとき ▶23ページ
内部クリーン・おそうじランプ(緑色)が点滅するとき ▶24, 25ページ



運転ランプが点滅するときは、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切り、約1分後、もう一度電源を入れて運転してください。

それでも運転ランプが点滅するときは、以下の手順にしたがってエラーコードを確認し、対応を行ってください。

エラーコードを確認する

1 リモコンを室内ユニットに向けて **取消** を約5秒間押す。

- リモコンに「00」が表示されます。



2 リモコンを室内ユニットに向けたまま **取消** を連続で押して「ピー」と鳴ったときのエラーコードを確認し、表の操作と対応を行ってください。

- 該当するエラーコードの左1ケタが一致したとき、「ビピッ」と鳴ります。
- **取消** を約5秒間押すか、しばらくすると通常表示に戻ります。



(表示例：A5)

エラーコードと確認内容	操作と対応
A5 エアフィルターが汚れていませんか？	運転を停止し、フィルター掃除運転をしてください。 その後、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切り、もう一度電源を入れて運転してください。 ▶19ページ
E7 室外ユニットに異物が入っていませんか？	電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってから、異物を取り除き、もう一度電源を入れて運転してください。
F3, F6, L3, L4, L5 車などで室外ユニットの吹出口をふさいでいませんか？	電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってから、障害物を取り除き、もう一度電源を入れて運転してください。
その他のエラーコード、またはエラーコードが確認できなかった場合	—

エラーコードは以下の順番で表示されます。

順番	エラーコード
1	00
2	U4
3	L5
4	E6
5	H6
6	H0
7	A6
8	E7
9	U0

順番	エラーコード
10	F3
11	A5
12	F6
13	C7
14	A3
15	H8
16	H9
17	C9
18	CC

順番	エラーコード
19	C4
20	C5
21	J3
22	J6
23	J8
24	E5
25	A1
26	E1
27	UA

順番	エラーコード
28	UH
29	P4
30	L3
31	L4
32	H7
33	U2
34	EA
35	AH
36	FA

運転ランプが点灯。しばらく運転して運転ランプが点滅しないときは、そのまま使用してください。



再度、運転ランプが点滅した場合。



下記の内容をお買い上げの販売店
またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品 名 ルームエアコン
2. 機種名 室内ユニット参照
3. お買い上げ年・月・日
4. エラーコード
5. お名前・ご住所・電話番号
6. 室外ユニットの設置場所



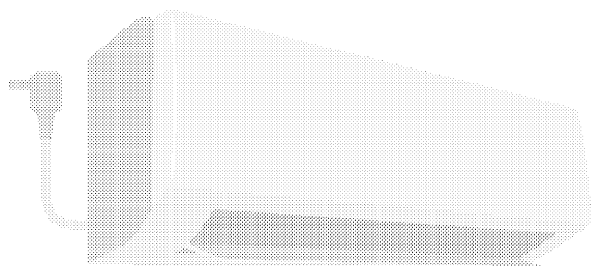
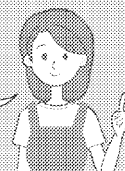
機種名

お知らせ

- その他動作が気になる場合 ▶28～32ページ

よくあるご質問

お問い合わせの前に
まずご確認ください。



運転を停止しても運転し続ける

- フィルター掃除運転、または内部クリーン運転をしているためです。

▶18, 19ページ

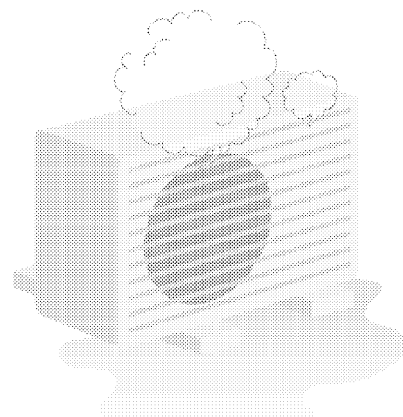
冷えない・暖まらない

- お部屋の温度が設定温度に近づくと能力を抑えて運転するためです。お好みに合わないときは設定温度を変えてください。
- 室内ユニットの真下や横に家具があると、センサーが設定温度に近づいたと誤認識することがあります。大きな家具など室内ユニットに近づけ過ぎないようにしてください。
- 屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外ユニットの熱交換器に付着した霜を取り除く運転を行うことがあります。(霜取り運転)
霜取り運転が終わると自動的に暖房運転を再開しますので、約3～10分間お待ちください。
- パワーセレクト「入」のとき、能力を抑えた運転をします。お好みに合わない場合は「切」にしてください。

▶17ページ

室外ユニットから水や湯気が出る(霜取り運転)

- 屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外ユニットの熱交換器に付着した霜を取り除く運転を行うことがあります。このとき、溶け出した霜が水や湯気となって出るためです。
(1時間あたり約2リットルの水が室外ユニットから出ることがあります。)



運転中に停電になったら

通電後、リモコンを操作して運転を再開してください。

雷が鳴り始めたら

落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってください。

長期間使用しないとき

- ① 晴れた日に内部クリーン運転をして、内部をよく乾燥させる。
(内部クリーン運転のしかた ▶18ページ)
 - ② 運転停止後、電源プラグを抜くか、エアコン専用のブレーカーを切る。
 - ③ リモコンの電池を取り出す。
-
- 再び使用する場合は、電源プラグを差し込むか、ブレーカーを入れてください。
各部の動作チェックを行います。